



情報セキュリティ 10大脅威 2018 組織版

1位

標的型攻撃による情報流出

2位

ランサムウェアによる被害

3位

ビジネスメール詐欺

New

4位 脆弱性対策情報の公開に伴い公知となる脆弱性の悪用増加

5位 セキュリティ人材の不足

New

6位 ウェブサービスからの個人情報の窃取

7位 IoT 機器の脆弱性の顕在化

8位 内部不正による情報漏えい

9位 サービス妨害攻撃によるサービスの停止

10位 犯罪のビジネス化（アンダーグラウンドサービス）

「情報セキュリティ 10大脅威 2018」は、2017年に発生した社会的に影響が大きかったと考えられる情報セキュリティにおける事案から、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が脅威候補を選出し、情報セキュリティ分野の有識者の審議・投票を経て選出されたものです。3月下旬には、IPAから詳しい解説が公開される予定です。

手口を知り、常に対策を怠らないことが重要です!!

【出展】独立行政法人情報処理推進機構 IPA「情報セキュリティ 10大脅威 2018」

<https://www.ipa.go.jp/files/000063831.pdf>